

# 目 次

はじめに	1
1. 学際プロジェクト研究の位置づけ	2
2. 第2期学際プロジェクトからの中間報告	
2. 1 海洋・都市基盤技術のイノベーション (代表 角洋一教授、中村文彦教授)	5
2. 2 ナノバイオテクノロジー研究：生物ストレスの観点から (代表 小泉淳一教授)	33
2. 3 持続型社会を担う水素エネルギー横浜プロジェクト (代表 太田健一郎教授)	43
2. 4 情報通信による医工融合イノベーション創生プロジェクト (代表 河野隆二教授)	59
2. 5 実用を目指した実装技術創造プロジェクト (代表 羽深等教授)	83
2. 6 快適未来社会を育むモーションテクノロジーの創生プロジェクト (代表 河村篤男教授、高田一教授、丸尾昭二教授)	95
3. 第2期学際プロジェクト中間評価報告	
3. 1 海洋・都市基盤技術のイノベーション	131
3. 2 ナノバイオテクノロジー研究：生物ストレスの観点から	131
3. 3 持続型社会を担う水素エネルギー横浜プロジェクト	132
3. 4 情報通信による医工融合イノベーション創生プロジェクト	132
3. 5 実用を目指した実装技術創造プロジェクト	133
3. 6 快適未来社会を育むモーションテクノロジーの創生プロジェクト	133
参考1. 第2期学際プロジェクト研究中間評価実施方法と要項	
参考2. 第2期学際プロジェクト研究成果報告会、評価会議の概要	